

## 社会生活を学びながら学校生活を送るために

社会の一員として生活するためのルールを学ぶ3年間

### 服装のきまり

#### 制服 → 社会人のドレスコードに準ずる

- 校内では名札をつける。
- ポロシャツのボタンは2つ以上開けない。 → クールビズ時と同様
- 正式の場合は、上のボタンまで締める。 → ネクタイ着用時と同様
- 靴のかかととは折らない。 → スーツスタイルにサンダルは不可
- 靴下は白・黒・紺・茶・グレー・深緑。ワンポイントまでは可。 → スーツスタイルの基本
- 靴下はスラックスで着席時、肌が見えない長さ → スーツスタイルの基本
- 外履きは、**運動靴**とする。
  - (スラックス) ○ スーツスタイルの基本に準じた履き方をする。
    - ・ ベルトの着用とウエストの位置。
  - (スカート) ○ スーツスタイルの基本に準じた履き方をする。
    - ・ スカートの裾は膝が隠れる長さにする。
    - ・ タイツは、冠婚葬祭でも着用可能なものにする。

#### ジャージ → スポーツ時のスタイルに準ずる

- 上着のファスナーは全開にしない。
- 開ける場合は、上から1/4までにする。
- 袖で手が隠れないようにする。
- ズボンがウエストの位置で履く。

#### 頭髪のきまり → 相手への印象を考えて

- 髪色は変えない。
- パーマをかけない。
- 肩に髪がかかったら、耳より下の位置で縛るようにする。
- 前髪は目にかからないようにする。
- 落ち着いた印象を与える髪型とする。
- 整髪料は使用しない。
- ゴムやピンは髪になじむ色(黒・紺・茶・グレー・深緑)とする。 → スーツスタイルに準ずる

#### その他のきまり → 中学生という立場と年齢を考えて

- 元気な声であいさつをする。
- 制服で登下校する。(衣替え期間は除く) ただし、部活動の下校時、雨天時はジャージでの登下校を認める。
- 朝の会、帰りの会は制服で行う。ただし、1・2校時が実技教科の日の朝の会、部活動があるときの帰りの会はジャージでもよい。
- 化粧はしない。
- 眉毛は故意にいじらない。
- 爪は掌から見えない長さにする。
- キーホルダーはカバンに1つだけとする。拳1個分が目安。
- 必要のないものは学校に持ってこない。
- いじめや暴力を絶対にしない。
- 荷物は、担当教科の先生の話をよく聞き、家庭学習がしっかりと行えるように考えて持ち帰る。

\* 細かいことは記されていないが、社会の一員として生活するルールを学ぶという意識をもって生活する。